

学校だより

平成22年10月1日

宇野っ子

玉野市立宇野小学校

秋の大運動会

暑い夏が終わり、朝夕のひんやりとした秋風が心地よい季節となりました。思いのほか秋の深まりが早いように感じます。

とは言いまでも、九月初旬は、日中の日射しは強く、猛暑の日々が続きました。しかし、そのような中、子どもたちは、毎日、表現・リレー・応援等の練習に一生懸命取り組み、がんばってきました。

運動会当日、子どもたちは一つ一つの演技に力いっぱい取り組みました。今年の児童会のテーマは「燃えろ宇野小！ 力を合わせてがんばろう」でした。子どもたち一人ひとりが一生けん命頑張り、すばらしい輝きを放っていたように思います。また、友達と協力することの大切さや、お互いのよさに気づくこともできたように思います。上学年の児童は準備・演技・放送・記録などの係の仕事をやりきるにより運動会を陰から支えました。係の仕事を責任もってしっかりと果たしていた姿も鮮やかな輝きを放っていたように思います。どの子も、カー杯頑張ったあとの快い達成感を味わうことができたのではないかと思います。

保護者の皆様や地域の方々には、最後まで御観覧いただき、子どもたちの演技に対して、温かいご声援と大きな拍手をありがとうございました。各ご家庭で子どもたちをしっかりとほめていただければと思います。



みんなで、力を合わせてがんばった。



一人ひとりの
がんばりが大きな
力になった。



思い出に残る
運動会になった。



秋の夜長に 読書がんばろう！

一冊の本を本気になって読む。子どものやわらかい心の中には、正義を素直に受け入れ主張する透明なものが存在している。何が正しくて、美しいものなのか。何が醜くて、憎むべきものなのか。ほんものの読書は、よりよく生活する価値観に目覚めさせてくれる。子どもたちは、生きる価値を未成熟な経験を背負いながら懸命に探し求めている。そして、自分と自然が切り離すことのできない関係であること、さらには、自分と家族、自分と社会のつながりによって日常生活が成り立っていることにも気づく。自分は一人で生きているのではなく、さまざまなものとかかわりあって生きていることに気づき、自分の価値の重さが分かってくる。

じっくり読み、感動体験を積み重ねることによって、自分を知り、自分も人も大切に作る心が生まれてくる。
「子育て読書をどうすすめるか」石上正夫 著

心のやわらかいこの時期、秋の夜長にしっかり読書に取り組ませたいものです。親子読書や読み聞かせ等もいいものですよ。

子どもたちが、小学校生活の中で最も楽しみにしている

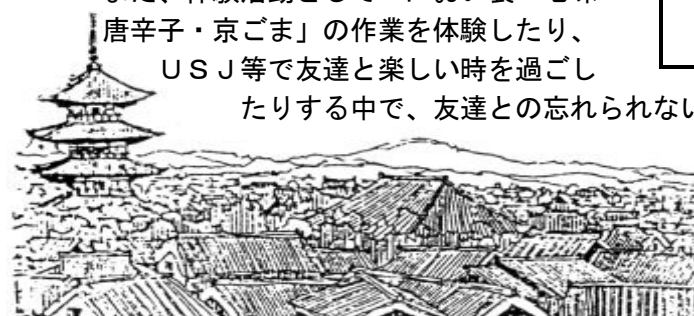
修学旅行

11月1(木)～2(金)

子どもたちにとって、小学校生活の中で最大の楽しみである修学旅行が、来月初めにあります。新幹線とバスを利用して、大阪・奈良・京都の三都を巡ります。

集団行動の規律を守って行動すること。歴史学習のまとめとして、これまで学んできた奈良の大仏・法隆寺・清水寺等の名所旧跡を訪れたり、街並みの中を散策したりする中で、先人たちの偉大な営みを感じ取ったり、当時の人々の暮らしの中での願いに思いを寄せたりします。

また、体験活動として「におい袋・七味唐辛子・京ごま」の作業を体験したり、USJ等で友達と楽しい時を過ごしたりする中で、友達との忘れられない大きな思い出をつくってほしいと願っています。



10月の行事予定

- 1日(金) おさらい会(3年)
- 5日(火) 親子集会 3年
- 7日(木) 視力検査
- 8日(金) 校外学習(1～5年)
- 11日(月) 体育の日
- 12日(火) 視力検査(4・5・6年)
- 14日(水) 陸上記録会6年
- 18日(月) 児童朝会 委員会
- 20日(水) 参観日・懇談・人権教育講演会
修学旅行保護者説明会(6年)
- 23日(土) 通学路家族グリーン作戦
- 25日(月) ハロータイム
- 28日(木) 修学旅行前健康診断



※講演会では楽しく有意義なお話が聞けます。参観は是非お越しください。

